



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月3日

上場取引所 東

上場会社名 共栄タンカー株式会社

コード番号 9130 URL <http://www.kyoeitanker.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 林田 一男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 荒木 裕一

四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日

TEL 03-4477-7171

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	2,817	△7.3	312	△15.2	164	21.0	292	312.3
24年3月期第1四半期	3,038	8.4	368	△12.8	135	△40.9	70	△41.2

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △85百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △70百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	7.64	—
24年3月期第1四半期	1.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	47,797	6,914	14.5	180.80
24年3月期	47,292	6,999	14.8	183.03

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 6,914百万円 24年3月期 6,999百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成25年3月期の配当予想額につきましては、現時点では未定です。

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,600	△8.2	300	△60.1	△150	—	△150	—	△3.92
通期	11,600	△3.9	950	△2.1	100	—	100	—	2.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	38,250,000 株	24年3月期	38,250,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	7,500 株	24年3月期	7,166 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	38,242,639 株	24年3月期1Q	38,242,834 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要などにより緩やかな回復傾向にあるものの、欧州債務危機による海外経済の減速と長期化する円高の影響を受け、先行き不透明な状況が続いております。

海運市況につきまして、大型原油船(VLCC)においては、中国での需要が高まったことなどにより中東／極東航路において4月に一旦はWS70を上回りましたが、新造船供給圧力は依然として強く、夏場の需要減も加わりWS40台前半まで下落しました。ばら積船においても期間を通じて低調に推移し、ケープサイズ型などの大型船ほど低迷し、期間中の日建て用船料平均は約US\$7,000まで低下しました。

このような状況下、当社グループは大型タンカーを中心とする長期貸船契約を主体に安定した経営を目指し、本年5月には平成26年2月竣工予定の大型原油船(318,000重量吨)を獲得するなど営業基盤の強化と拡大に取り組んでおります。また、各船の運航効率の向上と諸経費の節減にも全社を挙げて努めておりますが、長引く海運市況の低迷と円高などにより海運業収益は伸び悩み、当第1四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりとなりました。

海運業収益は28億1千7百万円(前年同期比2億2千1百万円減)となり、営業利益は3億1千2百万円(前年同期比5千5百万円減)、経常利益は1億6千4百万円(前年同期比2千8百万円増)、四半期純利益は2億9千2百万円(前年同期比2億2千1百万円増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債および純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末に比べ5億5百万円増加し477億9千7百万円となりました。流動資産は新造船の設備投資により預金が取崩されたことなどにより5億1千1百万円減少し28億7千万円となりました。

固定資産は新造船の設備投資により10億1千6百万円増加し449億2千6百万円となりました。

負債の部は、新造船の設備投資に伴う設備資金借入れなどにより、前連結会計年度末に比べ5億9千万円増加し408億8千3百万円となりました。

純資産の部は、利益剰余金は増加したものの、繰延ヘッジ損失が増加したことにより前連結会計年度末に比べ8千5百万円減少し、69億1千4百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の第2四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては、平成24年5月18日発表のとおりであり、変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更

(耐用年数の変更)

船舶のうち、VLCCの耐用年数については従来13年を採用しておりましたが、今般VLCCの経済的な使用可能予測期間の見直しを行い、耐用年数を15年に変更しております。

VLCCについては、従来は13年を前提にした使用計画を立てていましたが、13年を超えて使用できることが明らかになったため、今後の採算も含めた使用計画をすべて見直し、15年使用する方針に決定いたしました。

これにより、実態に即した経済的使用可能予測期間に基づく耐用年数に変更するものがあります。

この変更に伴い、従来の方法に比較して、当第1四半期連結会計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益が112百万円それぞれ増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,173,991	1,741,352
海運業未収金	5,170	1,244
短期貸付金	308,428	337,095
立替金	257,572	88,654
貯蔵品	310,357	380,262
繰延及び前払費用	50,562	48,339
繰延税金資産	17,288	—
その他流動資産	259,856	274,896
貸倒引当金	△1,202	△1,155
流動資産合計	3,382,026	2,870,690
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	41,621,719	40,714,596
建物（純額）	33,477	32,529
土地	47,971	47,971
建設仮勘定	1,277,146	3,294,270
その他有形固定資産（純額）	13,624	13,190
有形固定資産合計	42,993,939	44,102,558
無形固定資産	5,363	5,096
投資その他の資産		
投資有価証券	628,991	542,286
その他長期資産	310,641	281,105
貸倒引当金	△28,715	△4,200
投資その他の資産合計	910,917	819,191
固定資産合計	43,910,220	44,926,847
資産合計	47,292,246	47,797,538

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
海運業未払金	738,570	236,070
短期借入金	5,042,988	4,923,288
未払費用	79,925	75,231
未払法人税等	—	1,643
賞与引当金	42,209	9,654
その他流動負債	562,645	791,445
流動負債合計	6,466,338	6,037,333
固定負債		
長期借入金	31,394,832	32,276,360
繰延税金負債	349,405	191,663
退職給付引当金	366,234	369,145
特別修繕引当金	638,625	719,699
その他固定負債	1,077,054	1,288,906
固定負債合計	33,826,152	34,845,774
負債合計	40,292,490	40,883,108
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,850,000	2,850,000
資本剰余金	518,694	518,694
利益剰余金	4,573,643	4,865,811
自己株式	△2,150	△2,218
株主資本合計	7,940,187	8,232,287
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	157,363	101,559
繰延ヘッジ損益	△1,097,795	△1,419,416
その他の包括利益累計額合計	△940,432	△1,317,857
純資産合計	6,999,755	6,914,430
負債純資産合計	47,292,246	47,797,538

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
海運業収益	3,038,219	2,817,058
海運業費用	2,487,379	2,337,524
海運業利益	550,839	479,534
一般管理費	182,779	167,457
営業利益	368,060	312,076
営業外収益		
受取利息及び配当金	20,201	19,570
貸倒引当金戻入額	—	24,515
持分法による投資利益	—	45,145
その他営業外収益	5,861	3,444
営業外収益合計	26,063	92,677
営業外費用		
支払利息	227,369	240,135
持分法による投資損失	12,248	—
その他営業外費用	18,516	20
営業外費用合計	258,134	240,156
経常利益	135,988	164,597
特別利益		
受取損害賠償金	—	140,702
特別利益合計	—	140,702
税金等調整前四半期純利益	135,988	305,300
法人税等	65,121	13,132
少数株主損益調整前四半期純利益	70,867	292,167
四半期純利益	70,867	292,167

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	70,867	292,167
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33,113	△55,803
繰延ヘッジ損益	△108,055	△321,621
その他の包括利益合計	△141,169	△377,425
四半期包括利益	△70,302	△85,257
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△70,302	△85,257

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。